

施策評価シート

施策コード	4203	平成26年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	中心市街地の活性化	所属名	都市整備部	中心市街地整備課

1. 基本情報

位置 づけ の 計 画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○本市の中心市街地は、県東部地域最大の交通の要衝である鳥取駅を有し、多くの商業機能、文化機能が集積した経済・交流の中心であるが、自家用車の普及などにより、歩行者通行量の減少、空き店舗の増加、居住人口の減少などが進んでおり、魅力とにぎわいの創出が課題となっている。</p> <p>○平成25年3月に「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」の内閣総理大臣認定を受けた。この計画では、「街なか居住の推進」「賑わいの創出」を基本方針に据え、既存ストックの活用による街なか居住の推進や地域資源の活用等による観光交流の促進など、重点施策を中心に各種施策に取り組んでいく。</p>
めざす方向	中心市街地と周辺地域の生活拠点とが連携した魅力ある多極型のコンパクトな都市づくりを進める中で、都市機能が高度に集積した、魅力と賑わいのあふれる中心市街地へ再生を図る。
達成するための対策・手段	①鳥取駅周辺エリアの再整備 ②街なか居住の推進 ③商店街のにぎわい形成 ④鳥取城跡観光の推進

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

成果指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	実績	目標達成率	目標	実績
1	中心市街地居住人口	人	目標	12700	12800	12850	12900	12950
			実績	12504	12387	12407	12360	0
			目標達成率	98%	97%	97%	96%	
(指標の説明) 「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口。(基準値は平成21年度)								
2	中心市街地の休日の歩行者通行量 (30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
			実績	40073	35671	43812	52160	0
			目標達成率	111%	96%	115%	134%	
(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計。(基準値は平成22年度)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
			目標達成率					
(指標の説明)								

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	90,954	82,941	96,492	113,021	0

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	平成26年度は「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」が計画期間の2年目となる年であった。基本計画掲載全56事業のうち5事業が完了、46事業が実施中、5事業が未着手。基本計画の目標指標は達成しつつあり、引き続き中心市街地活性化に向けて各種事業の推進を図る。
---------------------------------------	--

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	中心市街地の活性化は、本市が進める「多極型コンパクトなまちづくり」を実現するための柱である。「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」に基づく関連事業の推進を図り、「街なか居住の推進」と「賑わいの創出」についてさらなる効果を求める。

事務事業評価シート

事務事業コード	001940	重点事業区分	リープロ3	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取駅周辺再生整備事業(太平線再生)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅前太平線沿道の商店街等
意図 (どのような状態にするために)	官民共同により人が集まる魅力的な空間に変え、中心市街地再生のシンボルスクエアとする。
手段 (どうするのか)	太平線で開催するイベントを支援することにより、太平線への来街者呼び込み、駅周辺の活性化を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成24年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成25年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成26年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成27年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	
	年度別実績	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,084	37,469	15,728	15,432	0	
	直接経費 A	20,360	33,533	4,800	11,671	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,046	16,766	0	0	0
		地方債	7,100	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,214	16,767	4,800	11,671	0
人件費 B	1,724	3,936	10,928	3,761	0		
職員数の内訳	正規職員	0.23	0.53	1.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
	実績	40073	35671	43812	52160	0			
		(指標の説明)	中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計						
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
		(指標の説明)							

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 1 9 9 (都0 2 1)</p> <p>【事業の概要】 太平線再生プロジェクトの事業効果を最大限に発揮させるため、太平線で開催されるイベントに特化した補助制度を創設することで、太平線への来街者を呼び込み、駅周辺の活性化を図る。</p> <p>【事業の成果】 駅前商店街や各種団体等が主体となり、集客力の向上に資するイベントを実施することで、来街者の呼び込みによる賑わい創出を図った。 イベント開催時以外においても平日の歩行者通行量が駅前太平線周辺で増加傾向にあり、プロジェクトの効果が徐々に見え始めている。</p> <table border="0" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">補助件数</td> <td style="text-align: center;">来街者数</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td style="text-align: center;">38件</td> <td style="text-align: center;">84,749人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td style="text-align: center;">26件</td> <td style="text-align: center;">51,810人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 駅周辺エリアの恒常的な賑わい創出のため駅前太平線バード・ハットの管理運営、イベントに対する支援を継続的に行うとともに、商店街等の活性化につながる仕組みづくりを検討したい。</p>		補助件数	来街者数	平成25年度	38件	84,749人	平成26年度	26件	51,810人
		補助件数	来街者数							
平成25年度	38件	84,749人								
平成26年度	26件	51,810人								

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%	134%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、駅周辺のイベントによる集客数や歩行者通行量が増加傾向になるなど有効な事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が見られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	同種のイベント開催補助金が別事業であり、事業実施形態も若干の違いがあり効率性は低い。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 公平ではない	補助事業者の固定化が見られ、補助事業の周知ができていない事に伴うものであると考えられる。一層の事業周知を図り公平性の確保をする必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成26年度はイベントを26件実施し、約5万2千人の来街者があった。歩行者通行量は駅前太平線周辺でオープン以降増加傾向であり、賑わい創出に効果が見えている。本事業は駅周辺の再生、賑わいの創出に不可欠なものであり、今後も官民一体で効果・検証を踏まえながらイベントを支援していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001942	重点事業区分	リープロ3	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取駅周辺再生整備事業(鳥取駅周辺整備)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	外部委託
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	鳥取駅周辺再生整備事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅周辺地区
意図 (どのような状態にするために)	「多極型コンパクトシティ」の実現に向け、今後30年を見据えた中心核としての再生を図る。
手段 (どうするのか)	基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	平成24年度 基本計画にもとづく施設整備の基本設計、事業調整	平成25年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計および事業調整	平成26年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整など	平成27年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整など	
	年度別実績	鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	基本計画にもとづく施設整備の実施設計および事業調整	基本計画に基づく施設整備の実施設計及び工事発注並びに進捗管理		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	46,297	13,829	33,587	19,100	0	
	直接経費 A	26,580	1,353	22,659	7,817	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	7,906	0	0
		地方債	0	1,000	7,400	6,800	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	26,580	353	7,353	1,017	0	
人件費 B	19,717	12,476	10,928	11,283	0		
職員数の内訳	正規職員	2.63	1.68	1.50	1.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
			実績	40073	35671	43812	52160	0	
	(指標の説明)	中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計							
2		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P 1 9 9 (都 0 2 2)、6月補正・P 5 5 (都 0 1 2)</p> <p>【事業の概要】 本市がめざす「多極型のコンパクトなまちづくり」の実現に向け、鳥取駅周辺の再生を図るため、「鳥取駅周辺再生基本計画」に位置付ける鳥取駅周辺での歩行環境整備や周辺施設の利便性向上のための取組みを行う。</p> <p>【事業の成果】 鳥取駅周辺の市民や観光客の利便性の向上のため、鳥取駅北口風紋広場トイレ整備に着手した(平成27年7月完成)。また、都市再生整備計画(鳥取駅周辺地区)(平成22～26年度)の事後評価を行った。 (翌年度繰越額 16,279千円 鳥取駅北口風紋広場トイレ整備)</p> <p>【今後の課題・方向性】 平成27年度中の鳥取駅北口トイレ整備の完成をめざす。また、鳥取駅南北の歩行者の回遊性の向上等「鳥取駅周辺再生基本計画」に位置付けた取組みを推進する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%	134%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、目的は妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、駅周辺の通行量も増加しており有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取駅周辺は中心市街地の核であり、重点的に活性化策を講じる必要があるため、賑わい創出の施策として効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取駅周辺は中心市街地の核であり、重点的に活性化策を講じる必要があるため、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>鳥取駅周辺再生基本計画では、様々な事業を計画している。平成26年度は鳥取駅北口トイレの整備に着手。今後も基本計画に位置付ける事業を実施していくとともに、関係者等の調整協議を行い事業の円滑な推進を図っていく。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001920	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	街なか居住推進事業(街なか居住)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	直営
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	街なか居住推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-35-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地への居住希望者、空き家・低未利用地の有効利用を希望する所有者。
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地の空き家や低未利用地の利活用と、中心市街地の居住推進を図る。
手段 (どうするのか)	住宅供給に関する総合的な相談窓口を設置するとともに、コミュニティに寄与する住宅を建設する者や、中心市街地に住宅を取得する者などに対して支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,710	23,345	9,691	11,087	0	
	直接経費 A	565	12,577	3,717	4,317	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	187	8,281	205	2,145	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	378	4,296	3,512	2,172	0	
人件費 B	12,145	10,768	5,974	6,770	0		
職員数の内訳	正規職員	1.62	1.45	0.82	0.90	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		中心市街地居住人口	人	目標	12700	12800	12850	12900	12950	
			実績	12504	12387	12407	12360	0		
	(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口									
	2	中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	0	0	1	1	1	
				実績	0	0	13	173	0	
(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口(社会増減数)										
3			目標	0	0	0	0	0		
			実績	0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3276</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P197(都018)</p> <p>【事業の概要】 第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、「街なか居住の推進」を基本方針とし、既存ストックの利活用を促進するとともに転入施策を強化することにより、新規定住者の増加をめざしている。 住まいに関する総合的な相談窓口を設置するとともに、コミュニティに寄与する住宅を建設する者や、中心市街地に住宅を取得する者などに対し支援を行う。</p> <p>【事業の成果】 街なか居住体験施設運営事業 ・入居者募集 街なか居住推進のための公的支援 ・街なか居住推進アドバイザー派遣 ・街なか個人住宅取得資金利子補給事業2件 ・鳥取市街なか空き家改修支援事業1件 住まいに関する総合相談窓口「住もう鳥取ネット」の設置 空き家情報バンクの設置</p> <p>【今後の課題・方向性】 制度に関する周知が課題であったが、市民からの問合せも増えつつある。今後も街なか居住推進のため継続して取り組む。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地居住人口	98%	97%	97%	96%	
	2	中心市街地居住人口(社会増減数)			1300%	17300%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	補助件数は少ないものの、問い合わせ件数は増加しており潜在的な市民ニーズは高いと判断されます。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地居住を選択する個人動機を促すものとして有効であると判断する。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	件数は少ないものの確実に居住人口につながる事業であり、効率性は高いと判断する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	関係者への制度普及は広くはかっており、概ね公平であると判断する。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント 第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、街なか居住の推進を柱の一つとしている。中でも情報提供は重要なところであり、住まいの総合相談窓口(住もう鳥取ネット)に加え、H27.1月には空き家情報バンクを創設し、問い合わせ件数も増加傾向にある。支援策は街なか居住への動機を促すものとして必要であり、これまでの取り組みを継続するとともに、さらなる強化策を考えていきたい。		

事務事業評価シート

事務事業コード	001923	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中心市街地活性化事業(イベント助成事業)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中心市街地活性化助成事業費			予算事業コード	01-06-01-02-26-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で開催されるイベント
意図 (どのような状態にするために)	集客を増やし、活力や賑わいの回復による中心市街地の再生を図る
手段 (どうするのか)	中心市街地内で公募提案型集客イベント等を実施する者に対して補助金を交付する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助	
	年度別実績	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	6,621	6,448	6,793	6,772	0	
	直接経費 A	5,871	5,928	5,336	5,268	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,871	5,928	5,336	5,268	0	
人件費 B	750	520	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.07	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
				実績	40073	35671	43812	52160	0
	(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P198(都020)</p> <p>【事業概要】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援することにより、中心市街地への集客によるにぎわい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成をめざす。</p> <p>【事業の成果】 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助件数</th> <th>参加者数</th> <th>新規主催者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成24年度</td> <td>16件</td> <td>17,444人</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>16件</td> <td>21,343人</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>14件</td> <td>24,125人</td> <td>4件</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】 公募提案型イベントへ補助することで、まちづくりを担う人材育成や交流の拡大につながっている。近年、新規主催者数が減少傾向にあるため、広く公募することにより多くの方に活用していただくとともに、発展性のあるイベント開催を支援していきたい。</p>		補助件数	参加者数	新規主催者数	平成24年度	16件	17,444人	7件	平成25年度	16件	21,343人	3件	平成26年度	14件	24,125人	4件
		補助件数	参加者数	新規主催者数													
平成24年度	16件	17,444人	7件														
平成25年度	16件	21,343人	3件														
平成26年度	14件	24,125人	4件														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%	134%	
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の魅力を高め、賑わい創出等を図るためイベントの誘致が必要不可欠である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地への関心を高めるとともに、企画立案者の育成も期待できることから、有効性の高い事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	公募提案型のイベントを支援することで、中心市街地への関心を高めるとともに、企画立案者の育成も期待できることから、効率性の高い事業である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	公募提案型のイベント支援事業であるため公平性の確保はされているが、新規主催者は減少傾向にある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	中心市街地で公募提案型イベントを実施することで、普段まちなかに訪れない方にも中心市街地への関心喚起が図られるとともに、企画立案者の育成にも寄与している。支援が固定化せず、特に新規主催者を増加させるよう、また賑わい創出へ発展性のあるものについての支援を考えたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001926	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中心市街地活性化推進事業(市民交流ホール)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	市民交流ホール運営費補助金			予算事業コード	01-06-01-02-26-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地内の重要な拠点である弥生にぎわい拠点(パレットとっとり)の市民交流ホール
意図 (どのような状態にするために)	多様化する市民交流ネットワークの拠点として、市民生活交流や多様な市民活動を促進し、中心市街地の賑わいを創出する。
手段 (どうするのか)	市民交流ホール運営者に対して管理運営費等を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	
	年度別実績	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,648	12,418	17,726	12,650	0	
	直接経費 A	11,898	11,898	11,898	11,898	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,111	1,167	2,826	1,286	0
	一般財源	10,787	10,731	9,072	10,612	0	
人件費 B	750	520	5,828	752	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.07	0.80	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
				実績	40073	35671	43812	52160	0
	(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】 市民交流ホールは単なる商業基盤だけでなく、市民交流ネットワークの基点であり、また、中心市街地における多様な市民交流の場としての公共的な施設に位置付けられる。 ホール運営は収益力が低いため、管理運営費のうち人件費の10/10、その他の管理費について4/5を補助する。 あわせて、市民交流ホールの利用料金を減免した額のうち、市内に事務所を有する団体が行う文化芸術活動等に係るものに対し補助する。</p> <p>【事業の成果】 市民交流ホールの安定的な運営、利用促進により、中心市街地の賑わいが創出された。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>利用件数</td> <td>来館者数</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>510件</td> <td>17,346人</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>508件</td> <td>17,428人</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>446件</td> <td>15,209人 (※H27.3は改修工事のため使用停止)</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 中心市街地活性化を継続的に推進するために、引き続き市民交流ホールの運営支援を行うとともに、より効率的な運営方法について関係者と検討する。</p>		利用件数	来館者数	平成24年度	510件	17,346人	平成25年度	508件	17,428人	平成26年度	446件	15,209人 (※H27.3は改修工事のため使用停止)
		利用件数	来館者数										
平成24年度	510件	17,346人											
平成25年度	508件	17,428人											
平成26年度	446件	15,209人 (※H27.3は改修工事のため使用停止)											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%	134%	
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民交流ホールは市民活動の拠点となる施設であり、目的はほぼ妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民交流ホールは市民活動の拠点となる施設であり、事業は概ね有効である。(年間利用者数15,209名)
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input checked="" type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	費用対効果については平成25年度の外部評価で指摘を受けた経過がある。ホール設置者や管理者と協議しながらより効率的な運営方法について検討を要する。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	ホール運営に係る補助事業の対象者は限定され公平性は無いが、市民交流ホールの利用については広く一般市民に開放されており、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input checked="" type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	バレットと通りの市民交流ホールは、多様な市民交流の場として公共的な役割を担っており、市民交流ホールの集客を高めることは、拠点性を高めるとともに周辺商店街への賑わいの創出に資するものである。補助金については、外部評価の結果を踏まえ、関係者と継続して協議を行い運営方法など見直しを検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001924	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	チャレンジショップ運営事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成16年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	外部委託
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	チャレンジショップ運営費			予算事業コード	01-06-01-02-26-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	創業を希望する市民
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地での新規開業を支援することにより、次世代商業者の育成及び空き店舗の解消を図る。
手段 (どうするのか)	新たに創業・開業をめざす市民等に対し、中心市街地の空き店舗を整備し、比較的安価な家賃で貸し出すとともに、専門家による経営指導や店舗PR等の支援を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	平成24年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	平成25年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	平成26年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	平成27年度 出店者の募集、入居、管理運営、広報	
	年度別実績	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	8,968	3,151	3,395	5,960	0	
	直接経費 A	8,593	2,780	3,031	5,584	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,593	2,780	3,031	5,584	0
人件費 B	375	371	364	376	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.05	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中心市街地での開業者数	件	目標	3	1	1	1	1
	実績	2	0	1	3	0			
(指標の説明) 事業実施により開業した件数									
2		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 商業振興係 0857-20-3222</p> <p>【9次総の施策体系】 4203、5103、5104</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P110(経011)</p> <p>【事業の概要】 中心市街地の空き店舗を整備したうえで安価な家賃で貸し出し、開業の初期投資の軽減を図るとともに、入居者への経営指導等を行うことにより、中心市街地における独立開業を促す。 (1) チャレンジショップ運営委託(委託先:鳥取商工会議所) ・出店者への指導、助言 ・店舗物件の管理 ・入居者家賃等の徴収 (2) チャレンジショップ運営協議会事務委託(委託先:鳥取商工会議所) ・出店者審査 ・運営に係る企画調整 ・事業の広報</p> <p>【事業の成果】 事業開始時からの卒業生73人のうち、52人が開業。このうち、中心市街地において45人が開業しており、中心市街地での新規開業の促進及び空き店舗の解消に寄与している。</p> <p>【今後の課題・方向性】 店舗の老朽化や出店希望者のニーズの多様化等の要素を踏まえ、新たな実施手法(出店希望者が選択した店舗に係る賃借料の一部を補助)により事業を継続する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地での開業者数	67%		100%	300%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の空き店舗活用促進による賑わい創出と、新規創業支援の充実による創業促進の観点から、市の関与が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	卒業生73人のうち、52人が開業しており、地元商業者の育成につながっている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	施設の老朽化や出店希望者のニーズの多様化等の要素を踏まえ、事業実施手法の転換が必要
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	次世代の地元商業者個人の掘り起し・育成を目的としているため、対象は限定されるものの、公募・審査会方式を導入することにより、公平性は担保されている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	店舗の老朽化や出店希望者のニーズの多様化等の要素を踏まえ、新たな実施手法により事業を継続する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001939	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	鳥取城跡観光推進事業		所属名	都市整備部	都市環境課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成30年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	直営
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	街なみ環境整備事業費(久松地区)			予算事業コード	01-07-05-01-23-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取城跡のお堀とお堀端の道路、住宅の景観
意図 (どのような状態にするために)	鳥取城跡のお堀とこのお堀端の道路、住宅が一体となった景観形成を進める。
手段 (どうするのか)	行政と地域住民が役割分担し、住民との協働によりお堀端景観の整備を行なう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 地元説明 整備方針 整備計画策定	平成24年度 地元説明 整備方針 整備計画策定	平成25年度 地元説明 関係機関との調整	平成26年度 地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備基本設計策定	平成27年度 地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備実施設計策定	
	年度別実績	地元説明	地元説明	地元説明 関係機関との調整	地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備基本設計策定		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	12,611	0	
	直接経費 A	0	0	0	8,850	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	4,424	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	4,426	0	
人件費 B	0	0	0	3,761	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		街なみ環境整備基本設計策定		目標	0	0	0	100	0	
			実績	0	0	0	100	0		
	(指標の説明) 鳥取城跡のお堀端の景観整備に関する基本設計									
	2	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		街なみ環境整備基本設計策定		目標	0	0	0	0	1	
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明) 鳥取城跡のお堀端の景観整備に関する実施設計										
3	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 景観緑化係 0857-20-3271</p> <p>【9次総の施策体系】 4201</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P51(都004)</p> <p>【事業の概要】 鳥取城跡を間近に望むお堀に面した地区は、鳥取市景観計画の定める久松山山系景観形成重点区域の中心に位置し、市内観光の中心であるとともに市民生活の場である。また平成30年度を目途に大手登城路復元整備が進められている。このため、城下町の面影が伝わる景観形成を目指して、街なみ環境整備事業を行うものである。</p> <p>【事業の成果】 城跡、お堀端の特性を活かした街なみ整備により、観光振興による地域活性化、地域文化の伝承、住民の定住化促進を図る。</p> <p style="text-align: right;">市道山の手通り街なみ環境整備基本設計業務 8,850千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 お堀端周辺の道路整備(カラー舗装、電線の地中化など)を地域住民、景観審議会等との協議を通して決定する。 なお、本事業は社会資本整備総合交付金・街なみ環境整備事業により実施する。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	街なみ環境整備基本設計策定				100%	
	2	街なみ環境整備基本設計策定					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市道整備のため市が関与すべきであり、鳥取城跡を中心とした街なみ整備が必要である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	鳥取城跡の復元整備とあわせた城下町の面影が伝わる景観形成を構築するためには欠かせない事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)を活用している。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市内観光の中心である鳥取城跡周辺の整備である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成27年度に実施設計を行い、平成28年度から用地補償及び工事を順次行っていく。	